

とりかいはちまんぐう ふな

鳥飼八幡宮の舟だんじりとホルトノキ

所在地：洲本市 五色町鳥飼中



本殿 出典：一般社団法人淡路島観光協会 HP



ホルトノキ

出典：一般社団法人淡路島観光協会 HP



舟だんじり

鳥飼八幡神社は、京都岩清水八幡宮の淡州別宮として名高い神社です。本殿は、慶長8年（1603）に再興された貴重な建築物として、県の文化財指定を受けています。また、参道入口には、幹周4.1mにも及ぶホルトノキの巨木があり、社殿と一体となり豊かな景観をつくりだしています。

鳥飼八幡神社では、毎年10月に豊作大漁を祈願し、秋の例大祭が行われます。200年近い伝統を持つこの祭りの見どころは、2台の舟だんじりが神社を出発し、浜までの2kmを練り歩き神社に戻ってくるところ。特に、舟だんじりが神社の急な石段を上下する様は圧巻で、地域の方を含めた多くの観客も沸き立ちます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本IC下車、県道472号線を北西へ。車で約30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図